

病院のお仕事いろいろ

核医学の スペシャリスト として



医療技術部
診療放射線技術部門
診療放射線技師

阿實 翔太
(あざね しょうた)

診療放射線技師は、主に医師の指示の下で、放射線などを用いた検査や、治療を行う医療技術者です。具体的な検査・治療としては、健康診断などでおなじみのレントゲン検査やCT、マンモグラフィなどといった放射線を使う検査のほかに、磁石と電波を使ったMRIなどの検査、がん治療に用いる放射線治療があります。

今回ご紹介する阿實技師は、徳島大学病院に入職して14年、現在核医学検査を担当しており、核医学専門技師の資格を取得しています。核医学検査はアイソトープ検査、RI検査とも呼ばれるもので、特定の臓器や組織に集まる放射性医薬品のうち目的に応じたものを患者さんに投与して、そこから出される放射線をガンマカメラやPET-CTで撮影し、病気の診断に利用します。

核医学検査は、放射性医薬品を身体の中に接種することになるため、患者さんの中

には放射線の影響について不安に思われる方もいらっしゃいます。阿實さんは、患者さんからそうした質問を受けた際に、少しでも不安を取り除けるよう分かりやすく、丁寧な説明を心がけています。また、検査に用いるガンマカメラやPET-CTについて、閉所恐怖症などの理由から、検査を不安に思われる患者さんには、事前に撮影機器を確認していただくなどの対応もされているそうです。

検査後、診療放射線技師は、撮影した画像について、医師が診断を行う際に適したものとなるよう画像処理を行います。この時の処理加減によっては、診断が困難になったり、誤診に繋がったりする恐れがあるため、知識と経験が必要です。

お話しの最後に、阿實技師から今後の目標について、「知識と経験を更に深め、最適な画像を提供していけるように努めていきたい」とお話しいただきました。